



## あなたのお子さまは大丈夫？

～春の交通安全運動2017～



はいた～い。4月です。新しい生活の始まりに、気持ちが高ぶっている頃でしょうか。

ですが、皆さん。ここは一つ気を引き締めて、あなたの周りの安全について、少し考えてみませんか。

今回は、春にちなんで、「子どもの交通事故」について調べてみました。

表1は、沖縄県内における子供(中学生以下の者)の交通事故に関するデータです。これによれば、平成27年の事故発生件数は476件、負傷者数は533人となっており、幸いなことに、ここ5年間で一番低いものとなっています。交通安全教育が実を結んでいるのかもしれませんが。

では次に、事故の状況について、詳しくみてみることにしましょう。

表2は、子供の状態別・死者数等を示したものです。これによれば、子供の死者数は歩行中が48.3%と一番高くなっています。ですが、死傷者数においては自転車や自動車によるものが高いたことから、歩行中の事故は死亡に繋がりがやすいと言えます。

次に、「歩行中」の死傷者数についてみてみましょう。

表3をご覧ください。歩行中の死傷者数が最も高いのは、7歳(小学1・2年生)という、言われてみるとやっぱり？な結果が、報告されています。しかも、小学生男児の死者数においては、なんと、女児の2倍以上もあるのだそうです。男児は女児に比べ、活発な傾向が強そうなので、それが事故へと繋がっているのかもしれませんが。

ちなみに、小学生の歩行中の時間帯別死傷者数では、小学生全体だと7時台、15時～17時台が多く、うち小学1・2年生では、15時台が最も多いのだとか。下校～遊びの時間帯で多くなっているようです。(表4) 学校が終わり緊張が解けてしまったのでしょうか…。

さらに、小学生においては、自宅から500m以下での事故が一番多いというデータもあります。(表5)

なお、子どもの交通事故は、横断中の事故と飛び出しが多いのだとか。

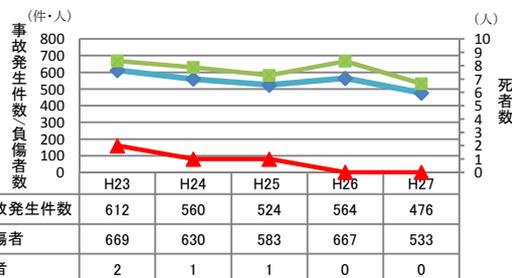


表1:子供の交通事故(沖縄県)

資料:沖縄県警察「交通白書」

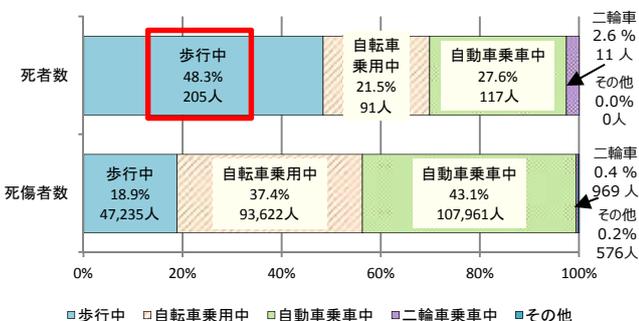


表2:子供(15歳以下)の状態別死者数・死傷者数(全国) (H24～H28(5年))



表3:年齢別歩行中の死傷者数\*(人口10万人当たり)(全国)

資料:表2.3 警察庁

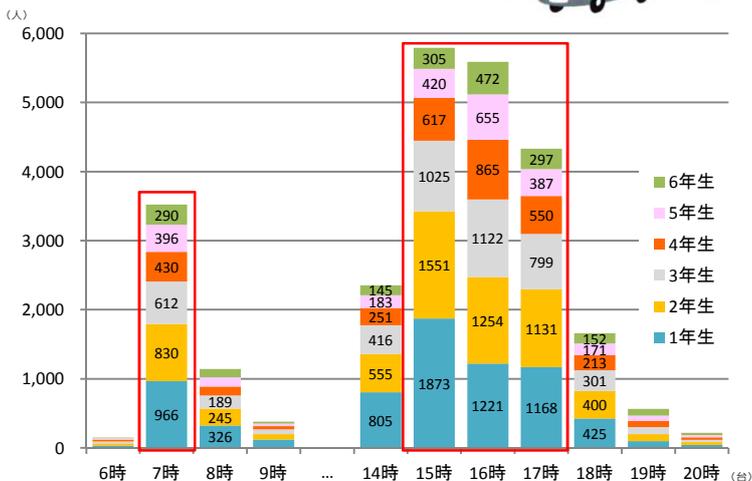


表4:小学生歩行中の時間帯別死傷者数(全国) (H24～H28(5年))

資料:警察庁

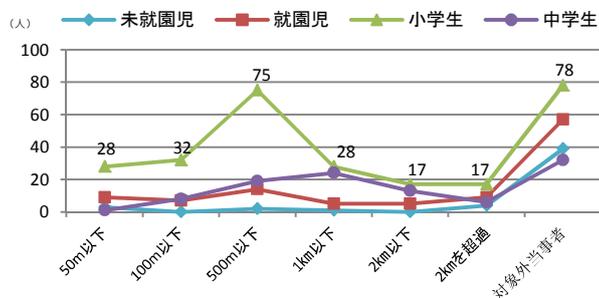


表5:子供の事故自宅からの距離別・学齢別死傷者数(沖縄県)(平成27年)

※対象外当事者:ひき逃げ等のため当事者が不明の場合、及び当該事故の当事者が自転車、歩行者以外の場合をいう。

資料:沖縄県警察「交通白書」

さて、いかがでしたか。7歳の、特に男のお子様がいらっしゃる皆さまは、ちむわさわさーしてきたのではありませんか？  
 ですが、それだけでは、大切な子どもたちを守ることはできません。交通ルールについて家族みんなで話し合ったり、子どもたちが日頃歩いている場所を一緒に歩き、その危険性を共に確認する等、してあげられることがきっとあるはず  
 です。

私たちが、子どもたちの笑顔を守りませんか。